

2021年度草の根活動支援事業「社会的困難者を支えるローカルアクション」申請団体一覧

No.	事業名	団体名	所在地	事業概要
1	役割と支え合いのある場づくりプロジェクト	NPO法人喜里	滋賀県東近江市	<p>難病を罹患すると、それまでできていたことができなくなったり、できにくくなったりすることが多い。そして、周りの人たちからサポートを受けて生活する場面が増えてくる。それはやむを得ない部分もあるのだが、「できない自分」「役に立っていない自分」を感じるが増えてくると、生きる意欲が低下することにつながる。また、症状が重症化してくると、就労することが困難になり、家庭生活に大きな影響を及ぼしたり、地域社会から孤立してしまうこともある。物理的にも精神的にもバリアのない施設を作り、人と人との繋がりを生み、多様な関係性の中で無理なく自分の「できること」や「やりたいこと」を見いだしていきけるような場を創設したい。それは、従来の障害福祉施設というイメージではなく、地域のコミュニティの中で、難病の人たちが「やりがい」や「役割」が見いだせる場になればと考える。また障害者手帳を持たない難病者が受けることのできる公的サービスは極めて限られている。制度では対応できない「日常の困りごと」に対して、地域の資源や住民の皆さんの力も借りながら「支え合い」をコーディネートできる仕組みを作る。</p>
2	障がいを抱える子ども達が安心してスポーツを楽しめる社会に	東近江FCレジリエンス	滋賀県東近江市	<p>【チーム活動の安定と継続】スタッフへの給与、新しいスタッフの募集、スタッフが専門知識を学ぶための経済的なサポートなど、チームの活動が安定して継続する環境作り 【新しい体験活動】障がいを抱える子ども達に、サッカー以外の多様な体験を提供する（例えば、キャンプ、保護者のもとを離れて子ども達だけの日帰り旅行など） 【障がい児スポーツに対する認知度を上げる】ホームページの作成、SNSでの発信、日本全国の障がい児スポーツチームを集めての交流大会の開催 【スポーツ指導者に向けた取り組み】地域のスポーツに関わる指導者に、障がいを抱える子ども達に対する理解を深めてもらうために、指導者向けの講習会を開催する 【将来的な方向性を明確にするための研修】障がい者スポーツ先進国（ドイツ、オランダ、スペインなど）の活動や取り組みを現地学ぶ 「チームの活動が安定することにより、より多くの子ども達を受け入れる体制が整う。それにより障がい児スポーツに対する認知度が高まり、誰もがスポーツを楽しめる社会になる」</p>
3	憩い・集い・助け合い・おもてなしの出来るイバ所づくり	伊庭町自治会	滋賀県東近江市	<p>今回謹節館の耐震補強及び外観修繕を計画している。謹節館は伊庭集落の中心にあり、中世伊庭城、近世旗本三枝陣屋が所在し、戦前の尋常小学校、国民学校の建物昭和23年に改築し集会所としたものである。2層平屋建の外観は屋根のしゃちほこ支間の唐破風が特徴で、伊庭町のシンボルとなっている。</p> <p>伊庭町は現在65歳以上人口が333名、14歳以下121名を数える。伊庭町の災害時一時避難場所は隣接する市立能登川西小学校であるが、ここは近隣集落の避難場所となっており、近隣住民が一斉に避難することは難しいと考える。また、当該避難場所まで伊庭集落の中心部からも約2kmの距離があり、高齢者や園児・児童が災害時に避難すること困難で、集落の住民の安全と安心を確保するため、住民誰もが知っており、避難所としての規模を有する施設として謹節館の整備を計画している。なお謹節館は、重要な文化的景観の重要景観構成要素の指定を受けた歴史的建造物であるが、これを改修し今後も利用しながら受け継いでいくことは、文化的景観の趣旨にも適い、文化庁にも好例との評価を得た。</p>
4	子どもを軸に多様な価値観と出会う公共空間	一般社団法人ぐるり	滋賀県東近江市	<p>対象とする子育て中の家族は、核家族や共働きがあたりまえの状況で、家族以外の人と家事や子育てを共有する機会が少ない。また、家庭内のケアは母親が担うものと、当事者もまわりも認識しているケースが多い中、そのストレスは家族内で抱え込まれている。</p> <p>そこで、東近江市内で子育て中の家族を対象に、駅前の中市街地にある大型商業施設の中で、子育て世代向けつどいの広場、シェアキッチンやコミュニティカフェ、個人の繕い物や小さな教室のできる作業スペースなどを兼ね備えた公共空間（パブリックスペース）を整備する。日々の暮らしの延長でこの場所に来てもらえるよう工夫を凝らし、夕飯の下ごしらえや、子どもを遊ばせながら他の人とコミュニケーションができるなど、つながりの生まれる場としていく。</p> <p>これらにより、自然と学び合いや助け合いなど、届かせた人同士が関わり始め、日常的に世代を超えた交流が生まれる中で、パラダイムシフトが起こり「あたらしい普通」がある地域となっていくことを目的とする。</p>
5	産み方・生き方を支える活動を広めよう！	お産&子育てを支える会	滋賀県東近江市	<p>県下では医療機関での出産がほとんどであるにも関わらず、産科医の減少や公立病院の産科閉鎖がこれから加速することで、妊産婦を受け入れる機関が激減している。産み場所が減少していく中、リスクがなく、自然なお産を望む女性を受け入れられる地域の開業助産師や助産所の存在はあまり知られていない現状がある。また、産前産後の母親とその家族を、継続的に支援できる地域の開業助産師の数は減少し、後継者不足も問題となっている。さらに、出産後の母親と家族の多くは、気軽に相談できる地域の開業助産師の存在を十分に知らないまま、不安の中で育児をしている状況で、産後早期に医療機関と地域の開業助産師が連携できるシステムがないため、切れ目だけの支援体制になっている。このような状況の中、東近江市を中心とした近隣の地域で、産前産後の女性とその家族がそれぞれの地域の助産師の存在を知り、繋がることで不安なく育児をしていくことを目的とする。そのため、地域の助産師の存在を広め、必要な時に支援が得られるシステムを作り、それを担える助産師を育成する。</p>
6	多様な人や文化、想いがつながるまちづくり	特定非営利活動法人まちづくりネット東近江	滋賀県東近江市	<p>◎外国籍の人が暮らしやすい地域をつくる事業 ・これまでの日本語教室と並行して、企業向けの日本語教室の開催を行う。ボランティア講師も新たに募集をし、出張の日本語教室を行う。 ・外国籍の子どもたちのための学習支援の場をつくる。 ◎外国籍の人と日本人をつなぐ事業 ・翻訳ツールの貸出及び活用の普及 ・日本人向けにやさしい日本語教室を行い、誰でもわかりやすい「やさしい日本語」の普及を行う。 ・相互理解を深める場として、ラチーノ学園と日本の保幼小中高との交流の機会をつくる。 ・互いの文化を知ることができるよう、サロンやフェスタなどを開催。 ◎市内の様々な事業所・公共機関・企業と連携し多文化共生のまちづくりを考える協議体を創る。 ・地域の様々な機関と連携し、外国人と日本人が相互に伝達し合える仕組みの構築を検討し、試行する。</p>